

【事業目的・背景・課題】

- (※)
- **お花見(桜)の経済効果は約1兆3878億円超**、このうち訪日外国人の経済効果は**26.3%**と試算されている。また、お花見にいく訪日外国人は約502万人、支出額は約1,687億円と試算されており、**桜は日本最大の自然観光コンテンツ**といえる。一方、**特定外来生物のクビアカツヤカミキリ**が、国内初確認から**10年あまりで17都府県まで分布を拡大**させ、各地の**有名観光地で桜や梅を棄損し大きな社会問題**となっている。
 - 桜、梅等の日本を代表する**キラコンテンツを保全**し、**観光地の魅力を維持・向上させる**ため、外来生物防除等の対策を行う必要がある。

※宮本勝浩 関西大学名誉教授による試算

【事業内容】

- 地域の自然観光資源を棄損し、観光地としての魅力を喪失させるおそれのある特定外来生物のうち、各地の桜や梅の名所に被害を生じさせる**クビアカツヤカミキリ**について、**防除等を集中的に支援**する。
 - 想定される対策：樹幹へのネット巻き、薬剤の樹幹注入、薬剤の散布、被害木の伐採、巡視、普及啓発 等
- 専門家の派遣や直轄施設等における防除を行い、効果的かつ迅速な対策実施を図る。

【事業実施スキーム】

- 事業形態：直轄事業及び間接補助事業(補助率 1/2)
- 請負先 or 補助対象：国→民間事業者→都道府県、市町村、DMO
- 事業期間：令和8年度～

【事業イメージ】

クビアカツヤカミキリ対策



桜や梅の観光地の魅力の維持・向上